

行事／取組名称	ジュニアチャレンジ in 岡山		
担当者	味野道信, 原田勲		
開催日時・期間	平成 30 年 7 月 22 日 (日) 14:00～15:30	会場	岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア
主催	物理オリンピック日本委員会 JPhO	協力	
共催	岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア		
協賛			
概要			
岡山県での国際物理オリンピックへの関心を高め、そのことをきっかけに科学に関心を持つ子供たちを育成しようという科学普及活動を実施するため、JPhO と人と科学の未来館サイピアが協力し、主として小学生を対象に物理チャレンジと国際物理オリンピックの紹介や物理チャレンジ実験問題につながる実験講座を実施した。			
参加者 教員	児童	保護者	
0 名	51 名	36 名	

岡山での Jr Challenge を JPhO が主催し、人と科学の未来館サイピアが共催して、以下のプログラムを実施した：

14:00～14:30 物理チャレンジと国際物理オリンピックの紹介

14:30～15:30 実験講座；風力で LED を点灯させる器具の作成

最初に、パワーポイントを用いて物理チャレンジと国際物理オリンピックの説明や物理現象に関わるクイズを児童・保護者で考えた。身近な現象の問題が出題され、親子などが熱心に聞き入ったり話し合ったりして解答したり、大変楽しんでいただいていたようであった。次に磁石、モーター、発電機などの仕組みが系統的に説明された。小学校低学年生には難しいところもあり、帰宅後親子などでの会話の話題にして頂くようお願いした。次いで、そのような仕組みを用いた風力発電機を制作し、紙コップで作った羽根を扇風機にかざして赤の LED が点灯することを確認してプログラムを終了した。プログラムには事前登録した小学生 51 名とその保護者 36 名が参加した。当日は猛暑日であったにもかかわらず、欠席者が 1 名のみで、児童・保護者ともども暑さを忘れて熱心にクイズ問題を考えたり、実験工作に熱中した。参加者から、来年度の Jr Challenge 開催を強く期待された。また、会場の周りには物理オリンピックに関するポスター展示、多くの方位磁石の整列に関する展示、手回し発電機による仕事を実感する体験器具が置かれ、多くの子供たちが興味をもって見入ったり体験したりした。

今回のプログラムの参加者から、将来の物理チャレンジへの多数の応募者が生まれ、さらには国際物理オリンピック日本代表を輩出できることを期待している。

(写真； 上段、中段：Jr Challenge の様子；下段：風力発電機の制作)

